

## 岩沼市民親善訪問団来たる!!

六月三日、四日の両日、姉妹都市岩沼市の市民の方三十一人が南国市を訪問。二日間にわたって市内見学や懇親会が行われました。

今回の来訪は、岩沼市の市制施行二十周年記念事業の一環として行われたもので、参加者のほとんどが一般市民の方ということから、今後の両市の市

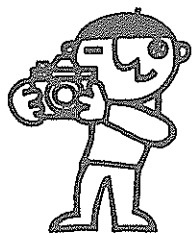


民ぐるみの交流にも期待されま

す。

市内見学では、西島園芸団地や国分寺、長尾鶏センターと歴史民俗資料館を訪問。三日に行われた懇親会では、まほろば囃子の演奏などでなごやかに交流を深めました。

## カメラ レポート



## 四国の道を歩く

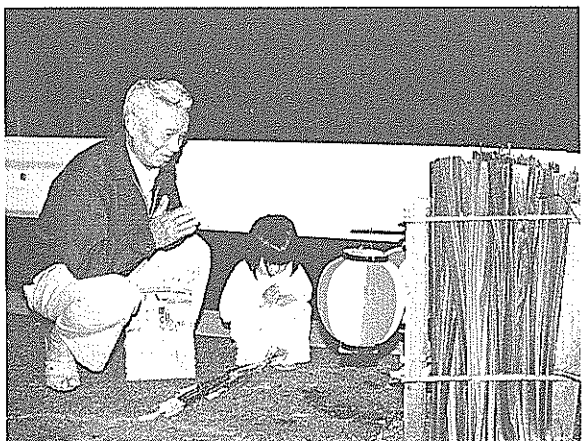


五月二十六日、婦人スポーツ教室の参加者六十人が野根山街道を一日ハイキング。今にも雨が降り出しそうな曇り空の中で出発でしたが、午後からは青空も見られるままの天気に戻り、途中、岩佐関所や宿屋杉などの見どころについて山崎清恵さんのガイドをうけながら、初夏の街道五・五キロを楽しく歩き、日ごろの健脚ぶりを発揮しました。

## エンコウ祭り

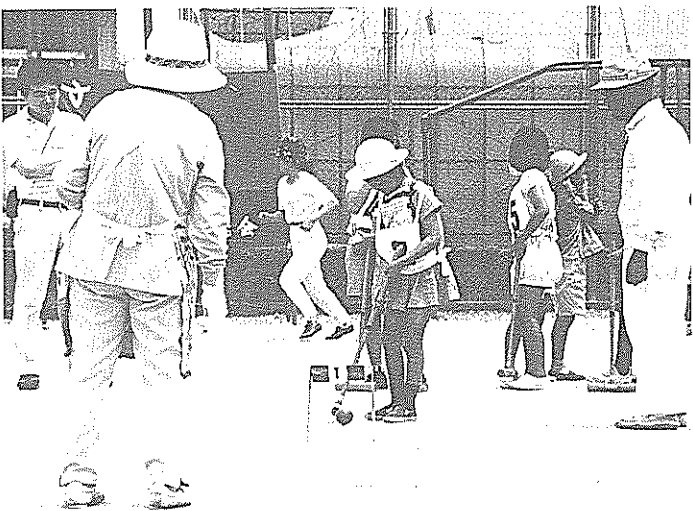
六月一日、前浜・久枝地区で子供たちのお祭り「エンコウ祭り」が行われました。エンコウ祭りは、子供たちの水難防止を願う祭り。後川、秋田川筋の橋のたもとには、子供たちがしょうぶで作ったほころが置かれ、元気な子供たちもほころの前では神妙に「水の事故から守って」とお祈りします。

日が傾くと、川沿いのあちこちから火花が上がり、この日は夜遅くまで子供たちの歓声が響きました。



## 大篠・久礼田でゲートボール大会

五月二十六日、大篠小学校で大篠子ども会連合会（小松敏郎会長）の主催によるゲートボール大会が行われ、小学校一年生から六年生までの女子三十二チーム百八十人が参加しました。老人クラブとの交流も兼ねたこの大会も今回で九回目とすっきり定着。女子の大会のため、黄色い声援に包まれたなごやかな一日で、大人たちはアイスクリーム販売や紙芝居の上演に大忙し。



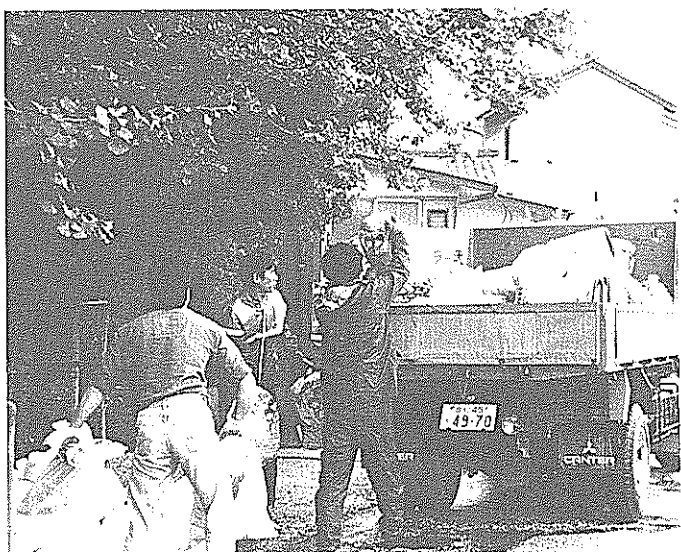
こちらは久礼田地区。教育委員会、久礼田小学校とPTAが主催する三世交代ゲートボール大会が六月十六日行われました。九十二歳のおじいさんから小学4年生まで、色とりどりの選手のプレイに勝負は二の次。この日はやはり、日ごろの練習量の豊富さからお年寄りパワーが圧倒。

一方、子供たちはサッカーやバレーのボールとは少し勝手が違うのかスティックさばきもどこか細げ。

## 環境美化へ 一斉清掃

六月九日に、約七千人が参加して市内一斉清掃が行われました。

この日は雨が降ったりやんだりのあいにくの天候でしたが、早朝から各地区の皆さんがごみを収集。回収の時間には収集場所に山のようにごみが積み、二、三方所で二トトラックがいっぱいになるほど。この日千屋崎の処分場には二トトラック五十台分のごみが集められました。



## 初夏のファンタジー

夜空を明滅しながら飛び交う蛍。この初夏の風物詩をよみがえらせようと六月一日「南国市みんなで蛍を守りましょう会（笠原清一会長）が初めて、蛍の鑑賞会を呼び掛けたところ大人や子供など二百人ほどが参加。会員によって蛍の幼虫のえさになるカワニナが放流された下陸内を流れる小川へ。

辺りがうっすらと暮れ始めたころ、小川の水草や生け垣のあちこちから淡い光が飛び立ち始め、幻想的な光景が繰り広げられました。



## 国分川に1200匹のコイを放つ

五月二十七日から六月七日にかけて、長岡、国分、岡豊、久礼田の各小学校の生徒たちが今年も国分川にコイを放流。

「国分川をきれいにする会（門田理博会長）」とともに各小学校のプールで育ててきたそれぞれ三百匹ほどのコイを、二元気に大きく「なつて」との願いを込めて放しました。今回で四回目を迎えるこの行事、もう一度私たちが川とのよりよい関係について考え直してみる良い機会では。



## 白木谷小学校で「福祉の梅」収穫

六月二十七日、白木谷小学校で全校生徒による梅の取り入れが行われました。南国市民生委員協議会の管理する「福祉の梅林」で実ったもので、民生委員に手伝ってもらい、用意したビニール袋はいっぱいに。この梅の実には民生委員婦人部で塩漬けにされた後、市内の福祉施設に贈られます。



## 「食」の日韓交流

六月十五日、大篠公民館で本場韓国の手作りキムチ教室が行われ、男性十人を含む約六十人が参加しました。

講師には、在日大韓民国居留民団高知県地方本部婦人部の四人の女性を迎え、参加者とともに白菜のキムチづくりを実践。

一味違う本場のキムチづくりとあって、参加者も熱心に講師の婦人の話に聞き入っていました。

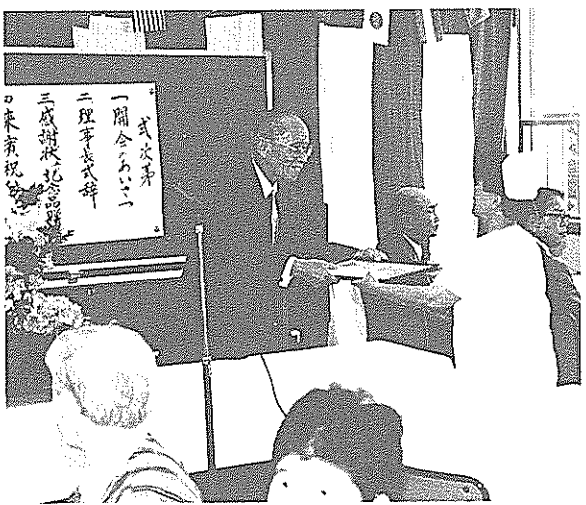


## 土佐清風園20周年

特別養護老人ホーム「清風園」の設立二十周年記念式典が、六月一日、関係者約百人が出席して行われました。

清風園は昭和四十六年六月一日の事業開始以来、のべ四百七十五人が入園。現在は市内外から八十人の方が入園されています。

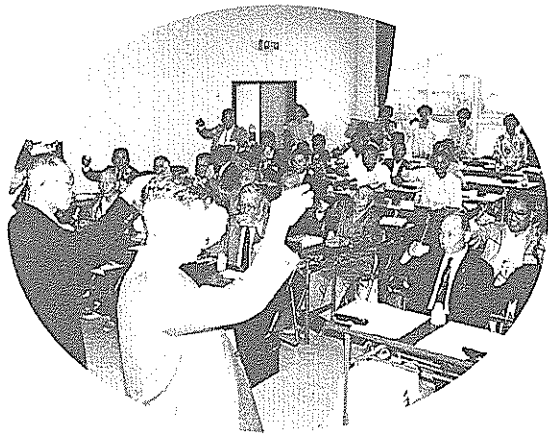
式典では、長年勤続された職員の日ごろの労苦に感謝するとともに、心機一転一層福祉活動に取り組んでいただきたいと職員の表彰が行われました。



## お茶でカンパイ

アルコールにむしばまれた心とからだ。何としてでも立ち直るうと、アルコール依存症の患者自身が始めた高知県断酒友の会の十周年を祝う会が六月二日大篠公民館で開かれました。会には保健所や病院関係者、市からは助役らが出席、祝辞を述べた後、開会を祝ってお茶で乾杯。

家族や会員がお互い助け合い、励ましあっていた十年を体験発表などで振り返り、今後の断酒の決意を新たにしました。



## 四国の市長が一堂に会して

六月三十一日、ホリデー・ホールにおいて第90回四国市長会議が開かれました。

小笠原市長が、「日本経済は順調であるにもかかわらず、地方財政は相変わらずさびしい。これを突りある会に。」と歓迎の挨拶のあと、各市を取り巻く現状や展望を熱心に協議しました。



六月一日は人権擁護委員の日。「あなたの人権は守られていますか」と街頭でPR。同和問題や女性・障害者などへの人権侵害があとを断っていません。

